

団体名	長野県、上田市、千曲市 上田地域シェアサイクル活用推進協議会、一般社団法人信州千曲観光局
問合せ先	長野県建設部都市・都市まちづくり課/信州地域デザインセンター担当
タイトル	地域・文化・産業をつなぐ広域型シェアサイクルの導入 ～暮らしたい！行ってみたい！味わいたい！地域を目指して～

1 取組概要

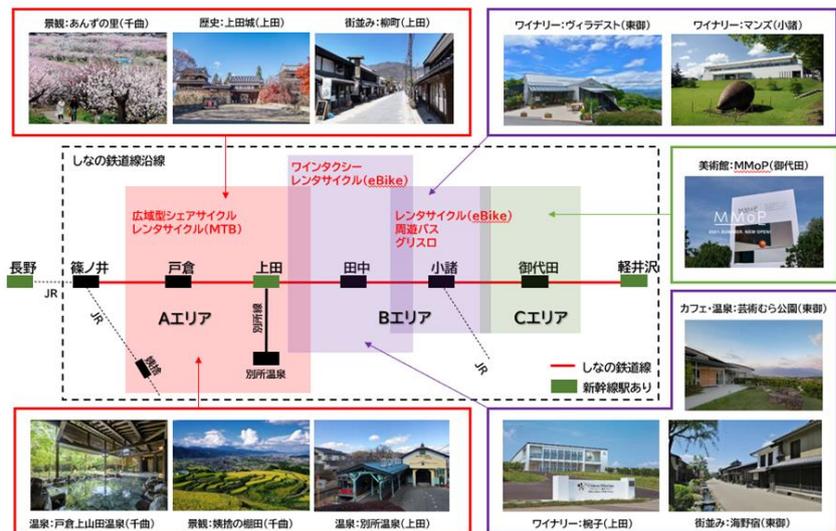
長野県のしなの鉄道線沿線地域（軽井沢町～長野市）には、地域食材を使ったレストラン、ワイナリー、温泉、日本遺産、棚田など、多数の地域資源が存在し、年間2,800万人の観光客が訪れているが、その8割が新幹線駅のある自治体（軽井沢町、上田市、長野市）に偏ってしまっている。原因のひとつとして、各駅から地域資源までの交通手段が十分でないことが考えられるため、公・民・学が連携したプラットフォームをつくり、自治体の垣根を超えた広域回遊のための環境構築を図っている。ただし、単なる観光スポット巡りでは、持続可能性が期待できないことから、環境にやさしく、受け入れ側の生活や文化を壊さず、地域経済がしっかり循環するような環境づくりを目指している。手順は下図のとおり。



2 具体内容

現状把握や自治体職員を中心とした勉強会の実施により、下図のような交通手段の整備に加え、地域全体のブランディング、既存プロジェクトとの連携が必要であることが分かったが、それらを同時に進めていくことは困難であることから、すぐに始められ、かつ地域連携や官民連携を促進できると考えた「広域型シェアサイクル」をリーディング・プロジェクトとして実施。

コロナ禍に有効な移動手段として評価されている自転車であるが、今回複数の自治体をつなぐ「広域型シェアサイクル」を導入したことで、地域連携が促進されただけでなく、ゼロカーボンや経済の地域内循環など、様々な分野への波及効果が出始めている。



3 その他

本取り組みで重視したことは「持続可能性」「多分野への連鎖」「関係者自身が楽しむ」ことの3点。特に「楽しんでやっぺいこう！」をスローガンに、小さく始め、楽しいと思うことをつなげていくことで大きな目的を達成することとした。その点で、今回リーディング・プロジェクトとして実施した「広域型シェアサイクル」は素晴らしい成果を上げており、今後のさらなる展開に期待していただきたい。